

みかん色の風景と人の温もり

呉曉馨

経済学研究科修士二年生 中国

「和歌山」と聞いて、私が最初に思い浮かべたのは、「みかん」だった。中国から日本へ留学し、大阪で生活するようになってからも、和歌山を訪れる機会はほとんどなかった。そのため、私にとって和歌山は「みかんの名産地」というイメージのままの場所だった。しかし、大学の授業で初めて和歌山の農村を訪れたとき、その印象は少しずつ変わり始めた。車窓から見える景色は、大阪の街並みとはまったく違っていった。遠くまで続く山々、ゆっくりと流れる時間、そしてどこか懐かしさを感じさせる風景だ。都会の便利さに慣れていた私には、その穏やかな空気が新鮮に感じられた。

授業では、上秋津の農園でみかん狩りを体験した。実際にみかん畑に入るのは初めてで、たくさんの実がなった木々を見たときはとても感動した。農家の方から収穫方法を教えていただき、自分の手で一つひとつのみかんを摘み取った。普段、私たちはスーパーで当たり前のように果物を買っている。しかし、その果物が店頭に並ぶまでには、どれほどの努力が詰まっているかを深く実感させられた。暑い日も寒い日も畑の手入れを続け、おいしいみかんを育てる農家の方々の丹精込めた日々の営みに触れ、食べ物への感謝の気持ちが強くなった。

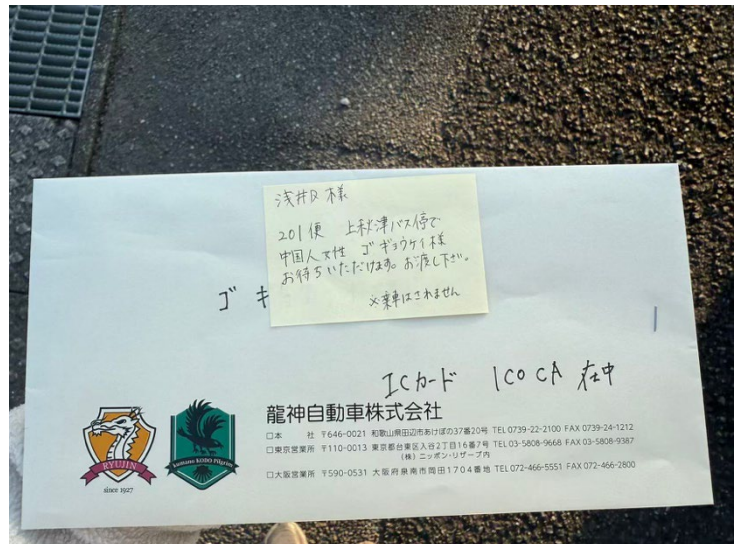
また、農園の方々は私たち留学生にもとても親切に接してくださった。収穫の方法だけでなく、和歌山のみかんづくりの歴史や地域の特徴についても丁寧に教えてくださり、私は和歌山の農業や地域文化に興味を持つようになった。中国にも多くの果物産地があるが、実際に畑へ入り、生産者の方と交流する機会はあまりなかった。だからこそ、この体験は私にとって非常に新鮮であり、地域の魅力を身近に感じる貴重な時間となった。

しかし、和歌山で私が出会った魅力は、美しい自然やみかんだけではなかった。合宿先に到着した直後、私は交通系 IC カードがないことに気付いた。移動中に落としてしまっ



たらし、何度も荷物の中を探したが見つからなかった。その瞬間、不安な気持ちが一気に押し寄せてきた。慣れない場所で大切なものをなくしてしまったことに加え、外国人留学生である私にとって、日本語で状況を説明しながら探すことは簡単なことではなかった。そんな私を見て、友人のゆみがすぐに声をかけてくれた。彼女は素早く状況を確認し、バス会社へ連絡してくれた。私は焦るばかりだったが、ゆみが落ち着いて対応してくれたため、とても心強く感じた。

しばらくすると、バス会社のスタッフの方がカードを見つけてくださったという連絡が入った。そして驚いたことに、スタッフの方はわざわざ合宿先までカードを届けてくださったのである。私はそのとき、大きな安心感とともに深い感謝の気持ちでいっぱいになった。カードを届けてくださったスタッフの方、そしてすぐに助けてくれたゆみ。その親切な行動は、私にとって単に落とし物が戻ってきたという出来事以上の意味を持っていた。



和歌山を訪れる前、私はこの土地をみかんで有名な場所としてしか知らなかった。しかし今では違う。私にとって和歌山は、人の温かさに出会った場所である。みかん畑で見た鮮やかな橙色の風景は美しかった。しかし、それ以上に美しかったのは、人と人とのつながりだったのかもしれない。留学生として日本で生活していると、多くの人に支えられていることを実感する。今回の経験を通して、私は改めてそのありがたさを知った。そしていつか、誰かが困っているときには、今度は私が手を差し伸べられる人になりたいと思う。和歌山で出会った人々の優しさは、小さな灯火のように、今も私の心を温かく照らし続けている。それはきっと、みかん色に染まる和歌山の風景とともに、これからも忘れることのない大切な思い出になるだろう。

橘色的风景与人情的温暖

吴晓馨

经济学研究科修士二年级 中国

提起“和歌山”，我最先想到的是橘子。自从从中国来到日本留学，在大阪生活以来，我几乎没有机会前往和歌山。因此，在我的印象中，和歌山一直只是一个“盛产橘子的地方”。然而，当我因为大学课程的契机来到和歌山时，这种印象开始慢慢发生改变。透过车窗映入眼帘的景色，与大阪的城市风光截然不同。绵延不断的群山、缓缓流淌的时光，以及令人感到几分怀念的乡村景色。对于已经习惯都市便利生活的我来说，这种宁静祥和的氛围显得格外新鲜。

在上课期间，我们体验了上秋津农园的摘橘子活动。这是我第一次真正走进橘子园。当看到一棵棵挂满果实的橘子树时，我感到十分震撼。农户们耐心地向我们讲解采摘的方法，我亲手将一个个成熟的橘子从树上摘下来。平时，我们总是理所当然地在超市购买水果。然而，这次经历让我重新认识到，一颗水果能够摆上货架，背后凝聚着许多人的努力与付出。无论是炎热的夏天还是寒冷的冬天，农户们始终坚持照料果园，精心培育出美味的橘子。我对食物也多了一份感恩之心。

然而，在和歌山让我感受到魅力的，并不仅仅是美丽的自然风光和香甜的橘子。到达合宿地点后不久，我突然发现自己的交通 IC 卡不见了。似乎是在移动途中不慎遗失了。我反复翻找行李，却始终没有找到。那一刻，强烈的不安瞬间涌上心头。对于身处陌生环境的我来说，遗失重要物品本就令人焦虑。而作为一名外国留学生，要用日语说明情况并寻找遗失物，也并非一件轻松的事情。就在我不知所措的时候，朋友由美立刻主动过来帮助我。她立刻了解情况，然后帮我联系了巴士公司。我只能焦急地等待，而由美却始终冷静地帮我处理各种问题。看到她沉着应对，我感到十分安心。过了一段时间后，我们接到巴士公司的通知，说已经找到了我的交通卡。更让我惊讶的是，工作人员还特意将卡送到了合宿地点。那一刻，我心中充满了安心与感激。无论是将卡送来的工作人员，还是第一时间帮助我的由美，他们的善意都让我深受感动。对我来说，这件事的意义早已不仅仅是“找回遗失物”这么简单。来到和歌山之前，我只知道这里以橘子闻名。但现在，在我心中，和歌山已经有了不同的意义。对我而言，和歌山是一座让我感受到人情温暖的都市。橘子园里那片鲜艳的橙色风景固然美丽，但或许比它更美的，是人与人之间真诚的联系。

作为一名留学生，在日本生活的过程中，我深深体会到自己一直受到许多人的帮助与支持。通过这次经历，我再次感受到这份善意的珍贵。未来，如果有一天我遇到需要帮助的人，我也希望自己能像那些曾帮助过我的人一样，主动伸出援手。和歌山的人们给予我的温暖，像一盏小小的灯火，至今仍温暖着我的心。而这份温暖，也一定会和那片被橘色染亮的和歌山风景一起，成为我永远不会忘记的珍贵回忆。